



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 第一化成株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 4235 URL <http://www.dkktokyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本多 希夫 (TEL) 042 (644) 6516
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 山本 一良
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	834	67.5	90	—	103	—	58	—
22年3月期第1四半期	498	△44.0	△99	—	△96	—	△24	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	10	39	—	—
22年3月期第1四半期	△4	31	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	3,597	2,157	58.6	377	12			
22年3月期	3,438	2,131	60.6	372	54			

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,108百万円 22年3月期 2,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	—	—	—	—	5	00
23年3月期	—	—						
23年3月期（予想）			—	—	—	—	7	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	1,611	47.0	151	—	185	—	110	—	19	68
通期	3,240	35.1	298	—	362	—	221	—	39	53

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 2「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社除外 一社

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	6,800,000株	22年3月期	6,800,000株
23年3月期1Q	1,209,594株	22年3月期	1,209,594株
23年3月期1Q	5,590,406株	22年3月期1Q	5,590,846株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 1「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 海外売上高	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、アジアを中心とした輸出に回復基調が見られるなど、企業収益に回復の兆しが見えつつあるものの、米国経済の回復の遅れや欧州経済の財政問題などによる円高の影響もあり、雇用情勢は依然として厳しく、緩やかなデフレ状況が続いていること等先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、主に海外向けの受注が急増したことを受け、生産体制を強化して対応をしているものの、依然として増加した受注を消化するに至っておりません。

これらの結果、当第1四半期の売上高は8億34百万円（前年同四半期比67.5%増）、営業利益は90百万円（前年同四半期は営業損失99百万円）、経常利益は1億3百万円（前年同四半期は経常損失96百万円）、四半期純利益は58百万円（前年同四半期は四半期純損失24百万円）となりました。

製品の販売状況を用途別に見ますと以下のとおりであります。

①衣料用

市場は廉価商品が主流を占めている一方で、高級志向への人気は依然として衰えておらず、薄手タイプ、ユーズド感覚の合皮への需要は引き続いております。また、繊維製品のエコラベルである「エコテックス規格100」対応製品を中心に販売を行っております。

この結果、衣料用の売上高は55百万円（前年同四半期比51.9%増）となりました。

②家具・車輛用

米国市場向けは急速に需要が回復しました。なかでも世界不況下において減少していたRV市場が著しく回復し、供給不足の状況が続いております。また、北米、アジア及びEU向け以外のマーケットも開拓されつつあり、売上高は大幅に増加しております。

この結果、家具・車輛用の売上高は5億16百万円（前年同四半期比92.2%増）となりました。

③手袋用

急速な需要増大による供給不足の状況が続いており、高感性・高機能のシープスキンタイプ、乗馬用手袋等のスポーツ手袋等の販売も増加傾向にあります。

この結果、手袋用の売上高は2億26百万円（前年同四半期比44.4%増）となりました。

④その他

スエードタイプの販売は安定しているものの、銀面調のナッパタイプの納品が従来以上の日数を要したため、結果として前年同四半期と比較して減少しております。

この結果、その他の売上高は20百万円（前年同四半期比25.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、販売増加に伴う売掛金の増加及びたな卸資産の増加等により前期末比1億59百万円の35億97百万円となりました。有利子負債は、前期末比16百万円減の8億49百万円となりました。純資産は四半期純利益の計上等により、前期末比25百万円増の21億57百万円となり、自己資本比率は58.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第1四半期連結会計期間において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより損益に与える影響はありません。

・会計処理手続に関する事項の変更

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、賞与の支給方法に関する社内規程を変更したことに伴い、支給対象期間による繰入額を基礎に将来の支給見込額を加味して計上する方法から、支給見込額のうち当第1四半期連結会計期間に対応する金額を計上する方法に変更しております。なお、この変更による損益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,615,697	1,508,083
受取手形及び売掛金	751,594	678,238
商品及び製品	151,187	121,485
仕掛品	20,130	11,041
原材料及び貯蔵品	55,586	55,665
繰延税金資産	38,398	45,199
その他	54,814	85,315
流動資産合計	2,687,409	2,505,028
固定資産		
有形固定資産	574,734	592,141
無形固定資産	19,929	20,072
投資その他の資産	315,414	320,980
固定資産合計	910,079	933,195
資産合計	3,597,488	3,438,224
負債の部		
流動負債		
買掛金	335,317	255,853
1年内返済予定の長期借入金	60,960	60,960
リース債務	4,444	4,329
未払法人税等	36,031	90
賞与引当金	25,508	15,070
その他	73,536	62,441
流動負債合計	535,799	398,745
固定負債		
長期借入金	778,080	793,320
リース債務	6,340	7,505
退職給付引当金	86,160	80,008
役員退職慰労引当金	32,538	25,570
繰延税金負債	1,259	1,389
固定負債合計	904,378	907,793
負債合計	1,440,178	1,306,539

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	415,500	415,500
資本剰余金	240,120	240,120
利益剰余金	2,057,997	2,029,414
自己株式	△588,075	△588,075
株主資本合計	2,125,542	2,096,959
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,622	△5,878
為替換算調整勘定	4,354	△8,431
評価・換算差額等合計	△17,267	△14,310
新株予約権	49,035	49,035
純資産合計	2,157,310	2,131,684
負債純資産合計	3,597,488	3,438,224

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	498,065	834,485
売上原価	500,146	635,128
売上総利益又は売上総損失(△)	△2,081	199,357
販売費及び一般管理費	97,084	108,459
営業利益又は営業損失(△)	△99,165	90,897
営業外収益		
受取利息	18	109
受取配当金	1,153	1,194
仕入割引	2,611	6,045
持分法による投資利益	2,078	9,386
その他	1,428	973
営業外収益合計	7,289	17,709
営業外費用		
支払利息	2,294	3,426
支払補償費	1,844	—
その他	379	1,434
営業外費用合計	4,518	4,861
経常利益又は経常損失(△)	△96,394	103,745
特別利益		
賞与引当金戻入額	14,000	—
役員退職慰労引当金戻入額	3,780	—
特別利益合計	17,780	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△78,614	103,745
法人税、住民税及び事業税	1,026	41,294
法人税等調整額	△55,546	4,373
法人税等合計	△54,520	45,667
少数株主損益調整前四半期純利益	—	58,077
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,094	58,077

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△78,614	103,745
減価償却費	24,044	20,202
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,000	10,438
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,895	6,151
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,780	6,968
受取利息及び受取配当金	△1,171	△1,303
支払利息	2,294	3,426
持分法による投資損益(△は益)	△2,078	△9,386
売上債権の増減額(△は増加)	△6,431	△73,356
たな卸資産の増減額(△は増加)	113,169	△38,712
仕入債務の増減額(△は減少)	51,146	79,464
その他	50,941	35,530
小計	138,416	143,168
利息及び配当金の受取額	1,887	25,382
利息の支払額	△2,294	△3,413
法人税等の支払額	△6,700	△6,504
法人税等の還付額	—	2,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,308	161,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,990	△4,215
無形固定資産の取得による支出	△114	△571
その他	△1,199	△4,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,303	△9,177
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△368,110	△15,240
リース債務の返済による支出	△1,099	△1,165
配当金の支払額	△28,029	△27,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	202,760	△44,357
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	324,765	107,614
現金及び現金同等物の期首残高	1,043,514	1,508,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,368,280	1,615,697

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当連結グループは合成皮革製品の専門メーカーであり当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	北米	ヨーロッパ	東南アジア	計
I 海外売上高（千円）	259,710	23,318	123,205	406,233
II 連結売上高（千円）	—	—	—	498,065
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	52.1	4.7	24.7	81.6

〔セグメント情報〕

当社グループは合成皮革製品の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の摘要指針」（企業会計基準摘要指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループの当第1四半期連結会計期間における生産、受注及び販売金額等は以下のとおりであります。

用途別の名称		生産金額 (千円)	受注金額 (千円)	受注残金額 (千円)	販売金額 (千円)
湿式合成皮革	衣料用	61,346	38,019	119,387	55,835
	家具・ 車輛用	537,911	531,460	290,715	516,945
	手袋用	258,772	235,215	240,831	226,019
	その他	39,475	44,427	57,445	20,661
	計	897,506	849,123	708,380	819,460
その他	溶剤 (DMF)	15,024	—	—	15,024
合計		912,530	849,123	708,380	834,485

(注) 1. 販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合が10%を超える相手先は次のとおりであります。

相手先	販売高 (千円)	割合 (%)
Ultrafabrics, LLC	513,608	61.6
Acushnet FootJoy(Thailand)Limited	132,989	15.9

2. 金額は販売価格によっております。
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 海外売上高

当第1四半期連結会計期間の海外売上高は次のとおりであります。

	北米	ヨーロッパ	東南アジア	計
I 海外売上高 (千円)	513,608	15,880	155,810	685,299
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	834,485
III 海外売上高の連結売上 高に占める割合 (%)	61.5	1.9	18.7	82.1

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各地域に属する主要国の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米……………米国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スイス、フランス
- (3) 東南アジア……………タイ、韓国、台湾、中国、インドネシア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。